

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業 にじのいえ		
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日 ～ 令和7年10月11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年9月16日 ～ 令和7年10月11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数の部屋があるため、活動内容によって使い分けができる。	活動内容によってイスや机の配置を変えたり、取り除くことで安心、安全に過ごせるようにしている。	部屋のスペースに配慮した課題設定を行い、安全管理に努めている。
2	テラスを活用し、簡単な運動遊びを行うことができる。 運動遊びを通して、ルールを守る、周囲の状況を意識する、友だちと協力するなど集団生活に必要な力を育むことができる。	健康管理に留意し、適度に休憩を挟みながら運動遊びを行っている。また、本人が自分で体調の変化に気付いていけるように、「疲れた」「少ししんどい」などの感覚を言葉で伝えられるよう声掛けを行っている。	スポーツドリンクや塩分タブレット、水を常備し必要に応じて提供している。
3	長期休暇時には、外出企画を設け、公共施設の利用や地域のお店に出向いてお買い物をする機会を設けている。これらの経験を通して、買い物の手順やお金のやりとりなど、日常生活に必要な力を身につけられるように支援している。	保護者の方にご協力いただき、あえてお金は細かい小銭でご用意して頂いている。 外出企画以外の場面でも、活動に取り入れることで楽しみながらお金の計算ができるようにしている。	お金の計算だけでなく、挨拶をする、注文する、お礼を言うなど、社会的なやりとりを経験し、コミュニケーション力の向上につなげている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方や地域住民、外部のお子さんとの交流がない。	個人情報の観点から、交流することが難しいため。 招待できるような部屋のスペースがないこと。	今後、各ご家庭のご意向に配慮しながら、保護者会の開催や公共施設等を利用し、保護者の方や地域等の方と交流がもてるような活動を企画していけるよう検討している。
2	外部研修に参加する機会が少ない。	平日に行っている講義が多いため、人員配置の観点から参加が難しい。	オンライン研修等で視聴期間に猶予が設けられている際は、積極的に参加するようにしている。
3			